

## ろくごうさんじいん 六郷山寺院

国東半島は、かつて来縄郷・田染郷・安岐郷・武蔵郷・国東郷・伊美郷に分かれていた。この六郷に点在する天台宗寺院を総称して六郷山寺院という。実際には宇佐の封戸郷と速見の山香郷までが含まれる。もとは宇佐神宮みろくじの僧侶たちが修行した場でもあった。耶馬溪層といわれる屹立とした岩山や岩窟がんとつは聖なる地として信仰の対象とされた。

六郷山寺院の由緒には、必ず「養老年間にんもんぼさつに仁聞菩薩はちまんしんによって開かれた」とある。この仁聞菩薩は八幡神の化身とされ、六郷の山々を修行するには二つの道があることを説いた。六郷山の僧侶たちにより現在も続けられている「峰入りみねいり」は、仁聞菩薩のこの教えを実践した修行なのである。

## ちやくしさい 宇佐神宮と勅使祭

天武天皇四年(675)の頃、近畿地方の有力な神社では祈年祭きねんさいにおいて天皇の使いである勅使ちやくしが派遣され、五穀豊穰ごこくほうじょうや天皇の安泰、国家の平安などを祈願することが行われていた。その際、勅使が布・衣服・武具・神酒などの「幣物へいもつ」・「みてぐら」を神に奉獻ほうけんするのが特徴であり、これが勅使祭の始まりとされている。これを受け神社を勅祭社ちやくさいという。勅祭は法により定められるものではなく、天皇の思おもし召めしによって行われる。

各地の諸大社には祈年祭以外にも例祭や臨時祭などに祭の使いが違ちがわされた。宇佐神宮には天皇の即位や国家の大事などの祭、特別に勅使が差さし違ちがわされた。これを「和氣宇佐の使ゆげの」・「宇佐の使」と称した。769年に弓削道鏡ゆきよが天皇の位につこうとした時、和氣清麻呂わけのきよまるが八幡神のお告げを聞くために派遣されたことは有名である。

宇佐神宮の長い歴史の中で度々断絶したが、大正十四年以後、十年一度の制度となり、平成17年10月6日に255回目の勅使祭が行われた。

## 宇佐神宮・国東半島を 世界遺産にする写真展

ごあいさつ

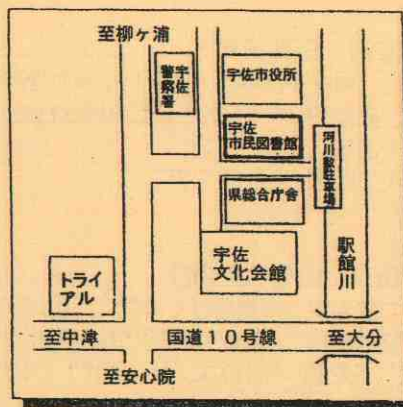
戦後61年目。外国と戦争をしない日本は、ようやく還暦を過ぎたばかり。一方、世界に目を向けると、今日もどこかで戦争が続いています。その根源には、宗教の違いによる異文化対立があるといわれています。

神を仏とし、仏を神として生活のなかにみごとに溶け込ませてきた日本人の生き方は、21世紀の世界に求められる異文化共存のさきがけです。その背景となった神仏習合の生まれ故郷が宇佐神宮と六郷満山。日本が世界に発信すべき「共存」というメッセージの発祥地ともいえるでしょう。

今年も、写真展を通じて宇佐神宮と国東半島を世界遺産にしようと活動しているアマチュア写真家グループ「写団・国東半島」のみなさんの協力を得ました。今回は、宇佐神宮の勅祭と六郷満山の名刹を中心に紹介しています。どうぞごゆっくりご覧ください。

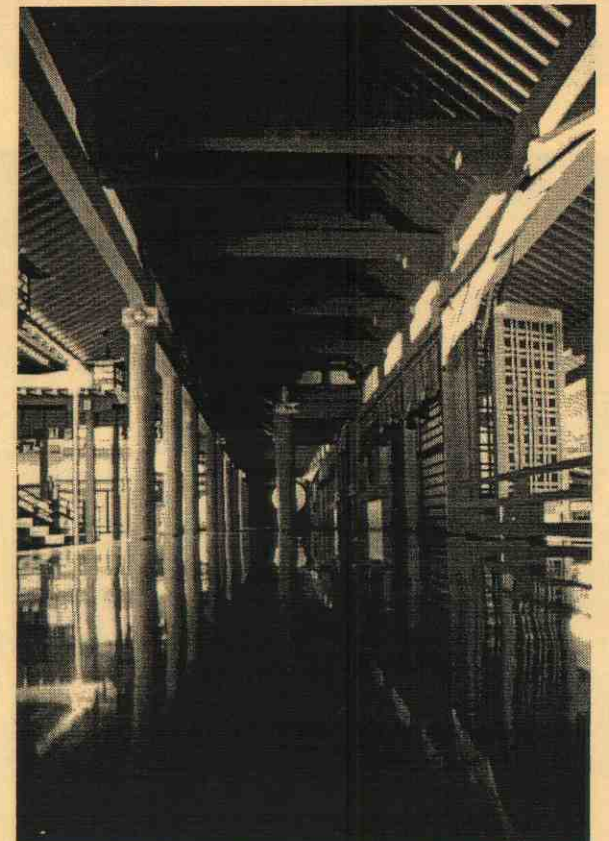
平成18年9月1日

宇佐市民図書館／渡網記念ギャラリー  
共催・写団・国東半島



平成18(2006)年9月1日／編集・発行 宇佐市民図書館  
大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600

## 宇佐神宮・国東半島を 世界遺産にする 写真展



●宇佐神宮「回廊内部」 中越誠也

2006. 9.2～10.8

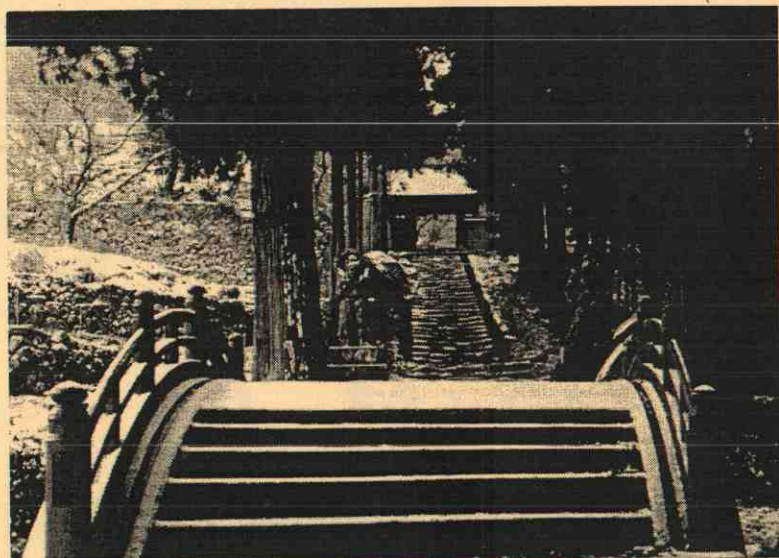
10:00～18:00(日曜のみ ～17:00)

休館日＝毎週月曜日・祝祭日・月末木曜日

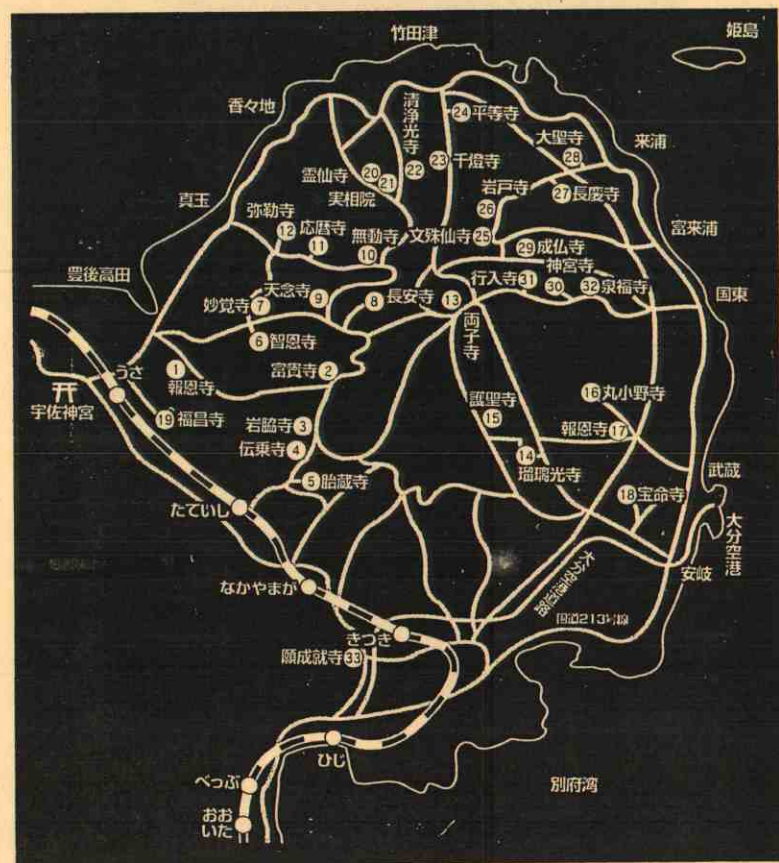
宇佐市民図書館・渡網記念ギャラリー  
共催・写団国東半島



## 展示内容



●両子寺「両子寺」 小田原賢司



### 出品者氏名

川崎静子(豊後高田市) 川崎善通(豊後高田市) 北原修二(豊後高田市)  
 佐藤友彦(豊後高田市) 瀬々 渉(豊後高田市) 中越誠也(豊後高田市)  
 東 正則(豊後高田市) 宮崎 正(豊後高田市) 山口文吉(豊後高田市)  
 吉成美智子(豊後高田市)  
 小田原賢司(国東市) 渡辺章子(国東市) 石井 皇(国東市)  
 堀 博史(杵築市) 高根建吉(杵築市) 広本征夫(杵築市)  
 (以上、写団・国東半島)

### 宇佐神宮(宇佐市)

全国八幡宮の総本社で、応神天皇・比売大神・神功皇后をまつる。奈良時代に現在地にまつられた。本殿は八幡造りといわれる独特の形をしており、国宝に指定されている。

宇佐神宮(渡辺章子) 呉橋(佐藤友彦) 勅使門(川崎善通)  
 西大門(東 正則) 下宮(佐藤友彦) 朝の参宮橋(吉成美智子)

### 宇佐神宮勅使祭(10年毎)

奈良時代、宇佐神宮には天皇の即位や国家の大事に際し、祈願のための天皇の使い「勅使」が派遣されていた。これを「宇佐の使」といい、今も「勅使祭」として伝えられている。

勅祭(広本征夫) 勅祭(小田原賢司)・八幡造り(東 正則)  
 回廊内部(中越誠也) 勅使祭(吉成美智子) 勅祭(高根建吉)  
 勅祭(小田原賢司) 勅祭(小田原賢司) 勅祭(広本征夫)  
 勅祭(小田原賢司) 勅祭(渡辺章子) 勅祭(小田原賢司)  
 勅祭(渡辺章子) 勅祭(高根建吉)

### 富貴寺(豊後高田市)

宇佐宮大宮司の御願寺として建てられた。九州最古の木造建築であり、大堂は国宝に指定されている。養老2年(718)仁聞菩薩の開基とされる。仁王門(川崎善通) 本堂瓦葺(東 正則) 五輪塔(東 正則) 板碑と国東塔(川崎善通) 大堂(吉成美智子)

### 天念寺(豊後高田市)

長岩屋川に面した断崖の下に本堂などが並び、十二の坊と十の岩屋があったとされ、行者修行の霊場であった。1月7日に修正鬼会を行っている。全景(川崎静子) 十六羅漢(宮崎 正) 長岩連峰(佐藤友彦) 川中不動(北原修二)

### 長安寺(豊後高田市)

養老2年(718)仁聞菩薩の開基とされる。鎌倉時代には六郷満山の総本山として65ヶ寺を統括していた。国重文の銅版法華経や木造仏などがある。本堂(川崎静子) 仁王像(宮崎 正) 参道(宮崎 正) 仁王像と国東塔(北原修二)

### 応暦寺(豊後高田市 旧真玉町)

平安～室町時代には修行や祈禱に力を入れた有力寺院の一つであった。江戸時代に衰退したが、元禄8年(1695)に再興された。現在、本尊の不動明王は県指定文化財である。山門(瀬々 渉) 全景(山口文吉)

### 霊仙寺(豊後高田市 旧香々地町)

六郷山寺院の一つ夷岩屋の系譜をひく寺院である。寺の前には夷耶場が広がり、秋の紅葉の季節は絶景である。山門前には半肉彫りの仁王像がある。山門(瀬々 渉) 全景(山口文吉) 山門(中越誠也)

### 実相院(豊後高田市 旧香々地町)

霊仙寺と同じ石垣を並べている。かつて香々地全域に寺勢を張った時期に実相院は坊の一つであった。また霊仙寺本堂を根本院と称していたとき、実相院は講堂であったという。本堂(山口文吉) 全景(中越誠也)

### 無動寺(豊後高田市 旧真玉町)

境内には鎌倉末～南北朝時代の宝きよ印塔が立っている。現在の無動寺は、もと六所権現に隣接して建てていたものを江戸時代に現在地に移転したといわれている。

山門(瀬々 渉) 全景(中越誠也)

### 両子寺(国東市安岐町)

国東半島最高峰の両子山の麓にある。近世以後は杵築藩松平家の祈願所となった。奥の岩屋は子授けの霊験で知られる。参道の仁王像は国東の石造仁王の中でも白眉である。

両子寺(渡辺章子) 両子寺(小田原賢司) 両子寺(小田原賢司)

### 旧千灯寺跡(国東市国見町)

現在の千灯寺とは谷を挟んだ丘陵に位置する。周辺の坊跡・奥の院・岩屋跡を含めて県の史跡に指定されている。また本堂跡の前には半肉彫りで古い形式の仁王像がある。

旧千灯寺(渡辺章子) 千灯寺(堀 博史)

### 丸小野寺(国東市武蔵町)

養老年間に仁聞菩薩が開基したとされる。天正時代の太田の戦いで焼失し、江戸時代になって現在地に再建された。

丸小野寺(渡辺章子) 丸小野寺(石井 皇)

### 岩戸寺(国東市)

養老2年(718)仁聞菩薩の開基とされる。境内には県下最古の国東塔がある。成仏寺と隔年で1月7日に修正鬼会(国重要無形文化財)が行われている。

岩戸寺(堀 博史)

### 願成就寺(速見郡日出町)

仁聞菩薩が最後に建立した結願寺。満願建立の願いが成就したことからこの名がある。境内には県有文の国東塔がある。

願成就寺(堀 博史)

### 宝命寺(国東市武蔵町)

小城山の中腹に観音堂があり、「小城のお観音さま」の名で親しまれている。天正年間に太田軍に焼討ちされ、その後再建された。近世以降、海上保安の信仰を集めてきた。

宝命寺(石井 皇)

## 関連資料

『宇佐・国東散歩26コース』豊田寛三監修(山川出版社・2001)  
 『日本の聖域・宇佐と国東』中野幡能ほか著(佼成出版社・1982)  
 『日本の美・国東紀行』石元泰博著(集英社・1978)  
 『国東 古寺巡礼』渡辺克己(双林社出版部・1986)  
 『六郷満山 ほとけの里国東』朝日新聞西部本社編(朝日新聞社・1978)  
 『週刊神社紀行6・宇佐神宮』(学習研究社・2002)  
 図録『八幡大菩薩の世界』(大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館・1986)  
 『宇佐神宮』(宇佐神宮庁・1985)  
 『世界遺産シリーズ』(シンクタンクせとうち総合研究機構)3冊

以上、関連資料11点

【合計 64点】